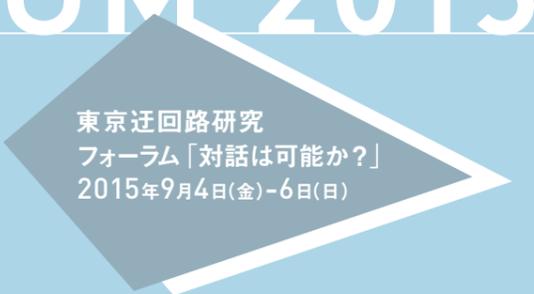


TOKYO DIVER-SION RESEARCH FORUM 2015

共に生きるということを体感し、そのありようについて考える3日間

多様な人が共に生きている東京。障害、ケア、労働、住処、ジェンダーやセクシュアリティ、国籍——その多様さゆえに、人々は日々、複層的な境界線を引き、引かれ、暮らしています。境界線は、ときに人を守りもしますが、孤立や分断、生きづらさを生み出すこともあるでしょう。異なる生を歩むわたしたちは、いかに「共に」あることができるのか。そこにはどのような「対話」が必要となるのか。「対話は可能か？」——介護士、詩人、研究者、写真家、美術家、プロジェクトディレクター、“おばちゃん”らによるトークセッションや対談、ライブなどを通じ、いまこの社会にあるわたしたちが、共に生きるということを体感し、そのありようについて考える3日間のフォーラムを開催します。



4 [金]

前夜祭

「幻聴妄想かるた」大会
19:30~21:30 / OPEN 19:15

不思議な声が聴こえる、奇妙なものが見える、なぜか強い確信がある…世田谷上町にある精神障害者就労継続支援B型事業所「ハーモニー」に通う人たちの体験をもとにつくった「幻聴妄想かるた」で遊ぶイベント。制作者の解説を交えながら、心の中の不思議な世界をかるた遊びを通じて共有し、分かち合うことを試みます。

会場：芝の家
進行：益山弘太郎、新澤克憲、富樫悠紀子(ハーモニー)
定員：20名程度／参加費：500円

6 [日]

プログラム③

出張ふわカフェ in 東京迂回路研究
11:00~12:30 / OPEN 10:45

国際基督教大学ジェンダー研究センター(CGS)が主催する、ジェンダーやセクシュアリティについて、みんなでふわっとおしゃべりする場「ふわカフェ」の出張版。今回のトークテーマは「カミングアウト」です。

*国際基督教大学ジェンダー研究センター
http://subsite.icu.ac.jp/cgs/

テーマ：カミングアウト
会場：芝の家
進行：加藤悠二(CGS職員)、上田真央(元CGS非常勤助手)
定員：15名程度／参加費500円

5 [土]

プログラム①

トークセッション「共に生きるということ」
13:30~16:30 / OPEN 13:15

さまざまな人の“生きること”に寄り添い、共にあろうとする、しなやかな場をつくっている実践者によるトークセッション。在宅老所や託児所、アートプロジェクト、コミュニティセンターの運営などの実践から、「共に生きるということ」をテーマに、即興で語り合います。

①加藤正裕(井戸端げんき)×長嶋元子(元子おばちゃん家)
②荒木順子(akta)×高橋伸行(やさしい美術プロジェクト)
③坂倉杏介(ご近所イノベーション学校)×吉川由美(ENVISI)
④ディスカッション

会場：SHIBAURA HOUSE 1F リビング
定員：30名程度／参加費：1000円

プログラム④

シンポジウム「対話は可能か？」
14:00~17:45 / OPEN 13:45

「対話は可能か？」という地平に自ら立つ方々をゲストに迎えた対談とディスカッション。多様な人が共に生きている社会では、その多様さゆえに、人はいくつもの境界線を引き暮らしています。見えない線による分断を目の前にして、わたしたちは、どのように振る舞い、迂回する道を見出しているのか。「対話は可能か？」という言葉を手がかりに考えます。

①対談
「まるっきり違うのにそれでも似るもの——迂回路をめぐって」
齋藤陽道×長津結一郎 *筆談による対談を予定しています

②パネルディスカッション
「対話は可能か？」
高嶺格×上田假奈代×細川鉄平×長津結一郎

会場：慶應義塾大学三田キャンパス東館G-SEC LAB.
定員：80名程度／参加費：1000円

*プログラム1、2、4：UDトークを使った音声認識字幕による情報支援あり

参加申し込みは「東京迂回路研究」ウェブサイトまで
<http://www.diver-sion.org/tokyo/>

プログラム②

ライブ「Living Together × 東京迂回路研究」
17:30~20:00 / OPEN 17:15

HIVのリアリティを共有するプロジェクト「LivingTogether計画」とのコラボレーションイベント。HIV陽性者やその周囲の人が書いた手紙の朗読とライブを行い「わたしたちは、もうすでに共に生きている」ということを体感します。

*LivingTogether計画 <http://www.living-together.net>

会場：SHIBAURA HOUSE 5F バードルーム
朗読：GOMESS、齋藤陽道、佐藤郁夫
Live：GOMESS
進行：長津結一郎、マダム・ボンジュール・ジャンジ
定員：50名程度／参加費：1000円

スピーカープロフィール

前夜祭 **精神障害者就労継続支援B型事業所ハーモニー**
世田谷区上町にある施設。不思議な声が聴こえたり、思い込みを超えた確信があったり…メンバーたちの経験をもとに「幻聴妄想かるた」をつくり、販売している。理解されにくいことも表現して大丈夫。そんな思いをこめて、最近の本屋、大学、ギャラリー等で出張かるた大会を行っている。

1 **加藤 正裕** かとう・まさひろ
宅老所井戸端げんき管理者
社会福祉士、介護福祉士。千葉県富津市生まれ。平々凡々に生きてたつもりだがいじめられてひとりぼっちに。10代でバンドに出会い救われる。東京で音楽活動をする口実に福祉の専門学校に進学。様々な福祉現場を経験後、井戸端げんきの門を叩く。生きづらい仲間たちと毎日サバイバルしている。

1 **長嶋 元子** ながしま・もとこ
伊豆大島元子おばちゃん家代表
保育園の園長を経て、子育て支援を実現する場として2009年6月に「元子(がんこ)おばちゃん家(ち)」を開設。保育ママや放課後支援事業などの制度を利用しながら、周囲の要望に柔軟に応える一時預かり場所や放課後の遊び場として運営。多様な人が集う場をつくっている。

1 **高橋 伸行** たかはし・のぶゆき
やさしい美術プロジェクトディレクター
アーティスト、名古屋造形大学教授。2002年から「やさしい美術プロジェクト」を開始。病院の緩和ケア病棟やハンセン病療養施設などで活動を続ける。最新プロジェクトに、足尾の石でできたお地蔵さんと新潟水俣病が発生した阿賀野川を草倉銅山に向け徒歩で遡上した「旅地蔵—阿賀をゆく—」。

1 **荒木順子/マダム・ボンジュール・ジャンジ** あらき・じゅんこ
NPO法人akta、コミュニティセンターaktaセンター
長新宿二丁目にある、セクシュアルヘルスに関する情報を提供しているコミュニティセンター aktaを拠点に、ゲイ・コミュニティでHIV/AIDS啓発活動をしている。Female Drag Queen/アーティスト。主な作品「Living Together / STAND ALONE」東京都写真美術館、「HUGたいうそう」ワタリウム美術館、水戸芸術館、Googleほか。

1 **坂倉 杏介** さかくら・きょうすけ
ご近所イノベーション学校
東京都市大学都市生活学部准教授、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任講師、三田の家LLP代表。「芝の家」運営などをとおして、地域コミュニティの形成過程やワークショップの体験デザインを、個人とコミュニティの成長における「場」の働きに注目して研究している。

1 **吉川 由美** よしかわ・ゆみ
ENVISI代表、南ダ・ハプランニング・ワーク代表取締役
アートプロデューサー、演出家。八戸ポータルミュージアムはっちアドバイザー。宮城大学非常勤講師。東北芸術工科大学大学院非常勤講師。仙台市などでアートによるまちの活性化に取り組む。震災で大きな被害を受けた南三陸町でアートを通し復興に向けたプロジェクトを実施している。

2 **GOMESS** ゴメス
ラッパー
1994年生まれ。LOW HIGH WHO? Production所属。「BAZOOKA!!! 第2回高校生ラップ選手権」に出場し準優勝を勝ち取る。以降、自閉症と共に生きるラッパーとして注目され、YouTubeにアップされた楽曲「人間失格」で脚光を浴びる。フリースタイルで生まれる独自の作詞方法とその楽曲は聞く人の心を捕らえていく。

2.4 **齋藤 陽道** さいとう・はるみち
写真家
1983年生まれ。石神井ろう学校卒業。2010年第33回キャン写真新世紀優秀賞受賞。写真集に『感動』（2011年、赤々舎）、『宝箱』（2014年、ぴあ）など。最新作に『写訳 春と修羅』（2015年、ナナロク社）。また、陽ノ道というリングネームで障害者プロレス団体「ドッグレグス」に所属している。

2 **佐藤 郁夫** さとう・いくお
特定非営利活動法人ぶれいず東京
1997年、結核でエイズ発症。ぶれいず東京でボランティアとして、NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス(JaNP+)で陽性者スピーカーとして活動。2010年、Eテレ「HIVと生きる」出演。現在は、ぶれいず東京で陽性者のためのプログラム運営に関わる。NHK福祉ポータルサイト内「ビープル」連載中。

3 **ふわカフェ**
国際基督教大学ジェンダー研究センター(CGS)主催の、ジェンダーやセクシュアリティについて、みんなでふわっとおしゃべりする場。グランドルールを設け、安心した対話の場づくりを目指している。学内外から参加可能。学期中月1回開催で、2015年6月で24回を数えた。

4 **高嶺 格** たかみね・ただす
美術家
1968年生まれ。秋田公立美術大学美術学部美術学科准教授。90年代初頭より多彩なアプローチの作品を発表。90年代にダムタイプのパフォーマンスに参加。「性」の問題などにも触れながら、異なる背景や価値観を持つ他者への接触と困惑、さらに相互理解を志向するプロセスを真摯に表現している。

4 **上田 假奈代** うへだ・かなよ
NPO法人こえとことばとこころの部屋(コクルーム) 代表
1969年生まれ。大阪市立大学都市研究プラザ研究員。3歳より詩作、17歳から朗読をはじめ。2001年「詩業家宣言」。2003年コクルームを立ち上げ「表現と自立と仕事と社会」をテーマに活動。西成区で「インフォショップ・カフェ コクルーム」と「釜ヶ崎芸術大学」などを運営している。

4 **細川 鉄平** ほそかわ・てっぺい
通所介護事業所 凡 代表
大学卒業後、介護の世界へ。「生きづらさに懸命に想いを馳せ、できるだけそれが和らぐような用意をもって、共に過ごす場を丁寧に整える」ことを大事に、少数制のデイサービスを運営。自らが理想とする介護を実現しようと施設等を立ち上げた若者たちを取材した映画「9月11日」出演者の一人。

4 **長津 結一郎** ながつ・ゆういちろう
NPO法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所 代表理事
1985年生まれ。慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所研究員、東京家政大学人文学部・家政学部非常勤講師。東京藝術大学大学院修了。専門は芸術と社会包摂。障害とアートに関する研究や実践を経て、わたしたちが生き抜くための「迂回路」を探る「東京迂回路研究」を推進中。

共に生きるということを感じ、
そのありようについて考える3日間

東京迂回路研究
フォーラム 2015

9.4^{FR}-6^{SUN}

可能か 対話は

?

前夜祭

平成 27 年 9 月 4 日 (金)

プログラム 1・2・3・4

平成 27 年 9 月 5 日 (土)・6 日 (日)

会場

芝の家・SHIBAURA HOUSE・
慶應義塾大学三田キャンパス東館 6F
G-SEC LAB.

TOKYO

O

DIVER-SION

RESEARCH

2015

R

2015

R

ABOUT APPLICATION

参加申し込み方法

すべてのプログラムは事前申し込みが必要です。(申込先着順)

参加希望の方は、「東京迂回路研究」ウェブサイトのお申し込みフォーム
または下記電話番号からお申し込みください。

※会場 1、2 は入り口に段差があります。

車椅子の方はお申し込み時にお知らせください。

※お預かりした個人情報、本イベントの受付業務及び主催者からのご案内のみに使用し、厳重に管理します。

WEB

<http://www.diver-sion.org/tokyo/>

TEL

070-6437-3599

[電話受付時間：火～金曜日 12:00～19:00]

お問い合わせ

特定非営利活動法人 多様性と境界に関する対話と表現の研究所

住所 東京都港区芝3丁目30番1号山岸ビル2F

Tel 070-6437-3599

E-mail info@diver-sion.org

東京迂回路研究とは

社会における人々の「多様性」と「境界」に関する諸問題に対し、調査・研究・対話を通じて、「生き抜くための技法」としての「迂回路」を探求するプロジェクト。東京都内を中心に、医療・福祉・ケアなどに関わる活動についての調査研究や、ジャーナルの発行などを行っている。

NPO法人 多様性と境界に関する対話と表現の研究所 (diver-sion) とは平成26年6月設立。社会にある「多様性」、人々のあいだにある「境界」に注目しながら、多様な人が共にある場の「対話」と「表現」を捉え、明らかにすることを試みる事業を展開する研究所。

所員：長津結一郎、井尻貴子、三宅博子 インターンスタッフ：石橋鼓太郎

主催：東京都、

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、

特定非営利活動法人 多様性と境界に関する対話と表現の研究所

協力：ご近所イノベーション学校、

国際基督教大学ジェンダー研究センター、

community center aka、con*tio、SHIBAURA HOUSE、芝の家、

Shamrock Records株式会社、

精神障害者就労継続支援B型事業所「ハーモニー」、

Living Together計画

MAP



会場①：芝の家

〒105-0014 港区芝3-26-10

JR 田町駅三田口より徒歩10分

都営三田駅A3、A8出口より徒歩10分

会場②：SHIBAURA HOUSE

〒108-0023 東京都港区芝浦3-15-4

JR 田町駅芝浦口より徒歩7分

都営三田駅A4出口より徒歩10分

会場③：慶應義塾大学三田キャンパス東館 6F

G-SEC LAB.

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

JR 田町駅三田口より徒歩約8分

都営三田駅A3出口より徒歩約7分